

小中連携と地域の活性化を目指した コミュニティ・スクールの取組

由利本荘市立東由利小学校 校長 森 茂樹
由利本荘市立東由利中学校 校長 板垣 直俊
由利本荘市教育委員会
東由利教育学習課 課長 小野 利彦

発表の概要

- 1 由利本荘市の現状
- 2 東由利地域について
- 3 東由利小学校の実践
- 4 東由利中学校の実践
- 5 小・中合同駅伝
- 6 まとめ

日本海



【位置図】



平成17年3月
1市7町の合併
により誕生



子吉川
(1級河川)

鳥海山
2,236m



秋田県由利本荘市面積
1,209 km²
人口約81,400人
小学校14校 3,649人
中学校10校 1,914人
幼稚園等5園 357人
保育所24園 2,116人
(H28.5.1現在)

由利本荘市の現状

◎地域の課題：人口減少が進み、地域の継承が課題となっている

年度	人口	世帯数
平成17年度	89,555	28,564
平成22年度	85,229	28,648
平成27年度	79,993	28,347
H27-H17	△9,562	217

*「国勢調査(平成27年度は速報値)」より

年度	児童数	生徒数	合計
平成17年度	4,802	2,625	7,427
平成22年度	4,184	2,316	6,500
平成27年度	3,647	2,000	5,647
H27-H17	△1,155	△625	△1,780

*「由利本荘市の教育」より

新創造ビジョン



最大テーマ：少子化に歯止めをかける

重点戦略

- ①産業集積の強靱化と雇用創出
- ②子どもを産み育てやすい環境の創造
- ③生きがいあふれる健康長寿社会の形成
- ④ふるさと愛の醸成と地域コミュニティの再生

由利本荘市の事業計画の概要

◎研究課題

○ふるさと教育を基盤に、豊かな心とふるさと愛にあふれる子どもを育成する
～コミュニティ・スクールの活性化による市の未来を託せる人材の育成～

由利本荘市：小学校14校、中学校10校

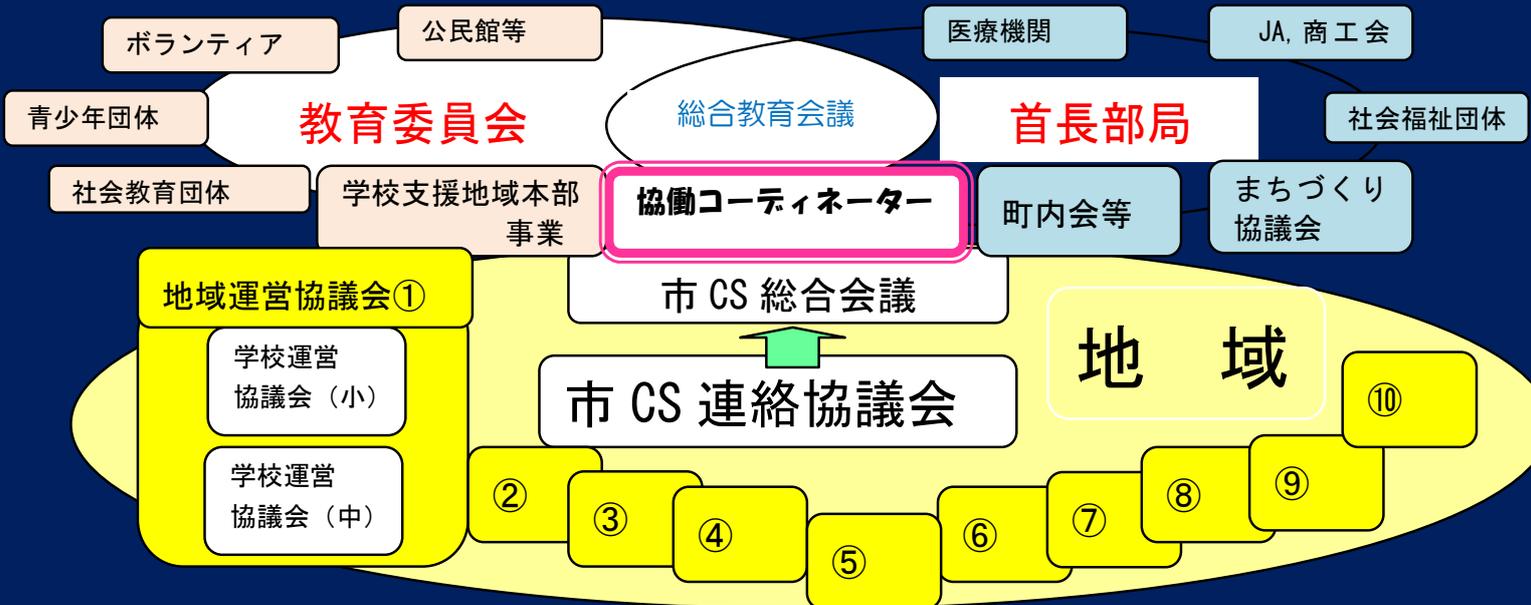
【地域と学校が一体となって子どもの育成を図る】

全ての子どもが夢と志をもち、実現に向けて笑顔で生き生き輝く姿をめざして

コミュニティ・スクールの活性化
＜首長部局・関係機関・地域・教育委員会が連携して＞

- 目標
- 1 地域の行事に参加する子どもを増やす
 - 2 地域で起こっている問題や出来事に関心をもつ子どもを増やす(地域の課題に目を向ける)
 - 3 地域や社会をよくするために何をすべきか考える子どもを増やす(地域の未来を考える)

事業推進に係る実施体制図



2 東由利地域について



小松 耕輔 氏
1884－1966
作曲家
日本初のオペラ
「羽衣」作詞・作曲



高橋 宏幸 氏
1923－2010
児童文学者
「チロヌップのきつね」
県文化功労賞



遠藤 章 氏
1933－
応用微生物学者
「スタチン」の発見
により米国の医学
賞ラスカー賞受賞



2 東由利地域について (1) 東由利地域の現状と課題

- ・昭和30年代前半の人口約10,000人 → 平成27年の人口3,800人 **約6割の減少**
- ・ " の児童数 約1,000人 → " の児童数 121人 **約9割の減少**
- ・東由利地域62地区の中で24地区(全体の約4割)には児童が不在
→ 学校に対する関心が低下



- ・統合に伴い、地域と学校との関係性が希薄になる状況がみられる。
- ・人口減少や少子高齢化に伴い地域内の諸活動が停滞する傾向がある。

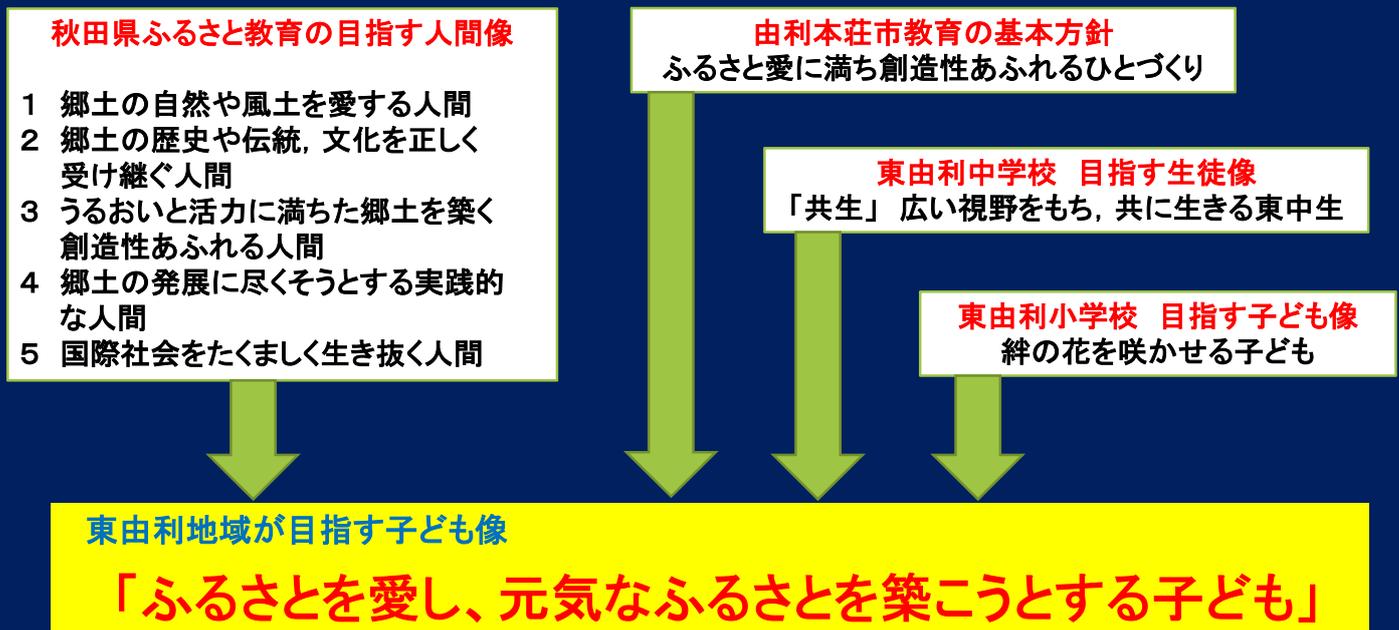


- ・**地域と学校との関係性を回復させ、連携強化に努める必要がある。**
- ・**学校が地域活性化の一助を担う**ことで、地域に支えられる存在となるようにする。

2 東由利地域について (2) 地域の小学校統合



2 東由利地域について (3) 目指す子ども像



2 東由利地域について

(4)CSの歩み 東由利「熟議」

保護者・地域住民・教職員・行政が一堂に会して地域の子どもの教育を語る。

<地域>

- ・地域(伝統)行事への参加を促し、地域の一人としての意識を高め、子どもに活躍の場を与える。
- ・地域全体での声掛けやあいさつ運動を広げていく。
- ・学校行事への参加や地域の先輩の授業など、学校との関わりを深める。



2 東由利地域について

(5)平成28年度CS 事業の重点

① 小中学校間の連携

小・中学校合同チームによる駅伝大会を実施し、児童生徒の交流を深める。実施に際しては、広く地域を巡るコースを設定し、地域住民の応援・協力を得られるよう配慮しながら、学校への理解が深まるように努める。

② 行政との連携

小中学校の管理職と総合支所の課長で構成する「東由利地域学校連絡懇談会」を設置し、関係機関の連絡調整を円滑なものとする。

③ 保護者との連携

PTA参観日に「小中合同PTA熟議」を開催し、保護者と教職員が子どもの健全育成と学力向上に向けた対応をともに考える機会とする。

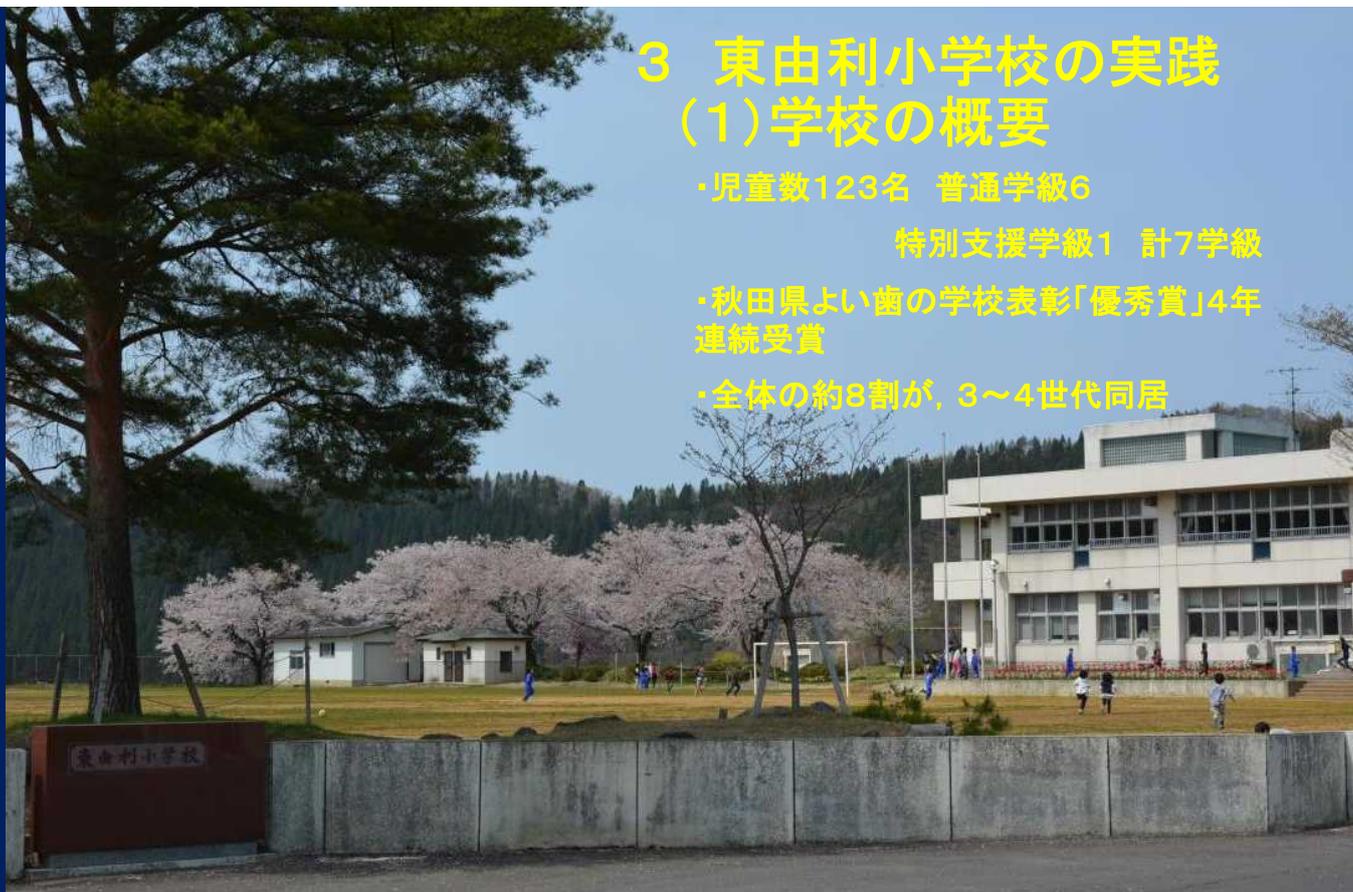
3 東由利小学校の実践 (1) 学校の概要

・児童数123名 普通学級6

特別支援学級1 計7学級

・秋田県よい歯の学校表彰「優秀賞」4年連続受賞

・全体の約8割が、3～4世代同居



3 東由利小学校の実践 (2) 実践の具体的内容

①保護者との連携 H27 PTA熟議

テーマ 「子どもたちが望ましい生活を送るために学校と家庭で心がけることは？」

- ねらい
- ・保護者や教職員が、学年の枠を越えて全校的な視野から、子どもたちを取り巻く様々な課題を各自の現状認識をもとに話し合い、課題について共通認識をもつ。
 - ・子どもたちのよりよい成長を目指して、家庭と学校それぞれが果たすべき役割や具体的な解決策について協議を深める。

- 協議
- ・あいさつの指導を大切にしていきたい。（地域と学校の連携）
 - ・ゲームについては家庭での決まり事が必要。
 - ・子ども任せにせずに、子どもに苦勞させることが大切。

3 東由利小学校の実践 (2)実践の具体的内容

②地域との連携



森に親しむ会(山遊庭の森)



春 シイタケの駒打ちと収穫の体験



秋 杉の枝打ちと植林



3 東由利小学校の実践 (2)実践の具体的内容

②地域との連携



ボランティアによる
月に1~2度の読み聞かせ



田植え 上里集落協定の皆さん

3 東由利小学校の実践 (2)実践の具体的内容

②地域との連携



ひがしゆり音楽祭への参加



敬老会における学習発表

4. 東由利中学校の実践 (1) 学校の概要

- 下郷中学校と玉米中学校が昭和44年に統合
→東由利中学校が誕生し今年で創立48年目
- 昨年度新校舎が完成→今年是新校舎2年目



4. 東由利中学校の実践 (2) 実践の具体的内容

①学校運営協議会

・メンバー 15名

地域住民代表、各種団体代表
PTA役員、校長、教頭、
教育行政担当者など

・会議 年3回(6月、10月、2月)



4. 東由利中学校の実践 (2) 実践の具体的内容

②学校行事への地域住民の参加



体育祭の「ハタハタ音頭」



「夜の学校」家庭科

4. 東由利中学校の実践 (2) 実践の具体的内容

③ 地域行事への生徒の参加



「黄桜まつり健康マラソン」



「ふれっそ誕生祭」吹奏楽部演奏

4. 東由利中学校の実践 (2) 実践の具体的内容

④ 地域での生徒の活動



通学路クリーンアップ



「出前合唱」

5. 小中合同駅伝大会

(1) 実施の経緯

・H26年度末 市内全小・中学校がコミュニティ・スクールに指定



・小・中が連携して、地域と一緒に取り組める事業の検討



・「小中合同駅伝大会」に決定

保護者・地域の皆さんには、中継所役員や安全協力員として協力していただく

5. 小中合同駅伝大会

(2) 大会までの経過①

予算確保

6/1 青少年育成由利本荘市民会議東由利支部総会

6/8 小中連絡協議会(第1回小中打ち合わせ会)

6/15 第2回小中打ち合わせ会

6/15 東由利地区PTA連絡協議会

7/13 第1回地域運営協議会(学校運営協議会の地域版)

7/29 第1回協力要請会議(地域の諸団体への協力要請)

9/8 児童生徒顔合わせ・抽選会および小学校試走

5. 小中合同駅伝大会

(2) 大会までの経過②

9/9 中学校試走

9/17 第3回小中打ち合わせ会

9/29 第2回協力要請会議(保護者・安全協力員全員参加)

10/1 役員打ち合わせ会(陸協会長、学校教育課長、校長等)

10/5 由利本荘市警察署に道路使用許可申請

10/13 小学校試走(2回目)

10/14 傷害保険契約(保護者・安全協力員対象)

10/20 グラウンド・コース準備(テント設営・ライン引き)

10/21 駅伝大会当日

5. 小中合同駅伝大会

(3) 駅伝のコースと区間

①コース 東由利地区中心部の路上を走る
一周約**10kmコースを2周**、計20.2km

②区間 1周目 小学生10区間(0.6km～1.7km)
2周目 中学生6区間(0.6km～2.3km) **計16区間**

③チーム数 小中混合**12チーム**

④チーム名 色の名前(タスキの色)

紫	オレンジ	紺	エンジ	緑	赤
水色	黄色	青	黄緑	茶色	ピンク

小中合同駅伝大会コース図



5. 小中合同駅伝大会 (4) 地域との連携

① 中継所役員として

- ・ 東由利陸上競技協会会員、市スポーツ推進員
保護者、小中教員(15中継区に60名)

② 安全協力員として

- ・ 民生児童委員協議会、人権擁護委員、交通安全協会
防犯協会東由利支部、東由利老人クラブ、保護者
学校運営協議会委員(コース全体に133名)

5. 小中合同駅伝大会 (5) 行政との連携

①地域住民への広報活動

・「東由利総合支所だより」への掲載

②当日使用する物品の借用

広報車、トランシーバー、誘導灯、三角コーンなど

③当日の人的サポート

東由利支所職員、スポーツ推進員など

5. 小中合同駅伝大会

(6) 当日の様子

役員と協力員のみなさんが集合 AM 8:00



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
開会式 AM 8:30



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
のぼり旗



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
スタート AM 9:10



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
保育園児の応援



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
老人ホームの方々の応援



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
住民自作の応援幕



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
小学生から中学生へ



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
中学生区間



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子

アンカーへのたすきリレー



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
小学生の応援



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
ゴール地点 AM10:42



5. 小中合同駅伝大会
(6) 当日の様子
閉会式



5. 小中合同駅伝大会 (6) 当日の様子 優勝したオレンジチーム



5. 小中合同駅伝大会 (7) 成果と課題

<成果>

- ・短い期間ではあったが、小学生と中学生が同じチームで競技することで、小中の子どもたち同士の連携が進んだ。
- ・駅伝大会の協力員として、約180名の保護者や地域の方々に道路に立っていただき、選手の安全確保に協力していただいた。このことによって、学校と保護者・地域との連携をこれまで以上に深めることができた。
- ・児童生徒が地域を走ることで、地域に住む多くの方々から応援していただくとともに、地域に活力を与えることができた。



6. 東由利地域の コミュニティ・スクール成果と課題 <成果>

- ・小中連携による児童生徒の連帯感、達成感
- ・子供たちが地域に親しみ、学び、育つことで生まれる地域の一員としての気づきと感謝の心、育まれる広い視野と主体性
- ・学校への関わりによる地域住民の一体感と意欲の活性
- ・学校、地域双方向の働きかけ、相互貢献による関係性の回復とふるさと愛の芽生え

6. 東由利地域の コミュニティ・スクールの成果と課題

<課題>

- ・地域の意欲の盛り上がりを活性化へどう結び付けるか
- ・地域から学校への働きかけの体制の確立(維持・継続)
- ・PTAと地域との関わり合い、地域コミュニティ(絆)の再構築

コミュニティ・スクールで 東由利を元気に！！



ご静聴ありがとうございました。